

消

こんにちは！
費生活相談室です 86

消費生活相談室 (☎47-1106 FAX44-7957)

◆事例1
事業を営む友人から、クレジット契約に名前を貸してほしいと頼まれた。「支払いは自分があるのであなたが請求を受けることはない」と言われ、信用して契約書に署名した。しばらくして信販会社から請求を受けたので確認すると、事業所は閉鎖されており友人とは連絡が取れない。
◆事例2
友人から「サラ金からお金を借りるのに名義を貸してほしい。迷惑は絶対にかけない」と頼まれ仕方なく貸した。その後、友人の返済が滞り、業者からの厳しい取り立てを受けて困っている。

名義貸しのトラブル

◆アドバイス
◆頼まれても承諾してはいけません 親しい人や取引先から「絶対に迷惑はかけない」「売り上げの数字合わせのためだけ」などと契約書へのサインを頼まれることがあるかもしれませんが、「名前だけなら」と安易に考えるのは大変危険です。名義を貸すということはあなたが契約当事者になることなのです。全責任をあなたが負う覚悟がない場合には絶対に応じてはいけません
◆クレジット会社からの確認の意味 クレジット会社は契約当事者に対し、契約内容等を電話で確認します。この電話は重要な意味を持っており、「ハイ」と答えることで代金を支払う意思を示したとみなします。心当たりがない場合は、そのことを伝えてはつきりと断ることが肝心です。

お忘れなく！
固定資産税 2 期
国民健康保険税 1 期
後期高齢者医療保険料 1 期
の納期限は
7月31日(金)です。
※便利な口座振替をご利用ください。

み

んなで拓く人権文化 72

地域振興課人権政策室 (☎47-1102)

境港市民の責務

日ごろ私たちはあまり「人権」ということを意識しないで生活しています。しかし、少数でも憲法に保障された基本的人権が侵害されている、あるいは尊重されていない人がいるならば、同じ市民として、同じ人間として放置すべきではありません。
戦後、大きな犠牲を払い作られた日本国憲法の重要な柱「基本的人権」を、日本に住む外国籍の人を含めて全員がすべて享有できる国家・社会作りが私たち境港市民にも使命としてあると思います。
21世紀を迎えてはや9年。私たち境港市民は20世紀末に「人権尊重都市宣言」をしました。「21世紀を展望する今こそ人類普遍の原理である人間の自由・平等、幸福を求める権利等の基本的人権尊重を、市民一人ひとりが自覚し、市民連帯の中でその実現を確立しなければならぬ」と(1991、平成3年)。そしてさらに4年後には「境港市から差別をなくす条例」(1995、平成7年)を制定し、「市民は、相互に基本的人権を尊重し、自ら差別及び差別を助長する行為をしないよう努めるとともに、人権意識の向上を図るよう努めるものとする」と市民の責務を高らかにうたい上げています。

全世界で何百万、何千万という単位で尊い命が失われた第一次大戦・第二次大戦。20世紀は戦争の世紀といわれるゆえんです。21世紀こそ真に人権が尊重される世紀にせねばなりません。「いのち」がいきいきと輝き、お互いの人権を認め合う21世紀の平和国家・社会作りには境港市民も積極的に参画しようではありませんか。
(人権教育推進員 藤原順宣)

今月のサロンコンサート

「アカペラな夜」
月とき・ところ 7月31日(金)午後7時30分～8時40分
文化ホール(入場無料)
出演 La Birds(ラ バース)
米子を拠点に活動している5人組アカペラグループ「La Birds」。オールティーズポツから日本の演歌まで、5人のハーモニーでカッコよく(?)お届けします。
(問合せ先 生涯学習課文化体育係 ☎47-1093)

図書館に行こう！

(市民図書館 ☎47-1099)

『まっかなトマト』
鈴木章史:文
鈴木悠正:絵
『まっかなトマト』
『パパの電話を待ちながら』
ジャンニ・ロダーリ
『お父ちゃんと私』
水木悦子
『お父ちゃんと私』
水木悦子
『お父ちゃんと私』
水木悦子

『温暖化地獄』
山本良一
『温暖化地獄』
山本良一
『温暖化地獄』
山本良一
『温暖化地獄』
山本良一
『温暖化地獄』
山本良一

さかいみなと文化財巡り 64
旧海軍美保基地 ④
爆弾庫と三十間道路
この写真は昭和三十年ごろの通称三十間道路と爆弾庫の航空写真です。この道路は、旧海軍美保基地と航空廠美保分工場・爆弾庫を結ぶ誘導路として建設されました。
終戦後、この地域は連合軍の管理下に置かれ、昭和二十五年七月に朝鮮戦争が起るや、美保基地とともに日本海側の重要な米軍の戦略基地となったのでした。
約三千人の米兵駐留で、「基地の街」と化した佐斐神町界隈の様相は極彩色のネオン輝く街と一変しました。

旧大篠津駅には旧海軍基地への敷設線があり、連合軍の輸送を担当した駅員は、ロケット弾や火薬・航空燃料などの軍用物資を満載した貨車を運びました。その作業は死と隣り合わせの過酷な作業だったそうです。
運び込まれた危険な軍用物資は、三十間道路中に見える四方所の土塁と松林の中の爆弾庫に収納されました。
誠道中学校の登下校の際に、誘導路の土塁の上に銃を携帯して立つ監視兵の姿をよくみためたものです。
昭和二十八年七月、板門店で休戦協定が調印され朝鮮戦争は終りましたが、東西の冷戦状態となつて残り美保基地の緊張状態は続きます。この写真はその頃のものでした。
その後、米軍は逐次撤退し、昭和三十三年九月基地返還。同年十月正式に航空自衛隊美保基地開設となりました。
境港市制施行の昭和三十一年、三十間道路の一部開放から都市計画が始まり、産業中央線として主要道路となりました。
爆弾庫跡は「市民の森」として生まれ変わり、「世界に平和を」のメッセージを込めた「夾竹桃」が植栽され市民の憩いの場となつていっています。
(市史編さん室 小灘浩)